

第 84 回 「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和 7 年 8 月調査)

～景況感は 4 期ぶりの悪化。先行きは悪化の見通し～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲6.2（前回調査比 2.2 ポイント下落）と 4 期ぶりに悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」はほぼ横ばい、「営業利益」と「資金繰り」は改善となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 5.4（前回調査比 1.6 ポイント上昇）、製造業が▲8.3（前回調査比 3.6 ポイント上昇）、卸・小売業が▲24.2（前回調査比 7.5 ポイント下落）、サービス業が 8.3（前回調査比 6.5 ポイント下落）と、建設業と製造業は改善、卸・小売業とサービス業は悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲3.3（前回調査比 3.0 ポイント上昇）、村山北部が▲12.2（前回調査比 14.2 ポイント下落）、最上が 24.2（前回調査比 3.0 ポイント上昇）、置賜が▲34.8（前回調査比 16.8 ポイント下落）、庄内田川が▲5.7（前回調査比 2.7 ポイント上昇）、庄内飽海が▲3.1（前回調査比 0.5 ポイント下落）と、村山南部、最上、庄内田川の 3 地域は改善、村山北部、置賜、庄内飽海の 3 地域は悪化となった。村山北部では D I 値がマイナスに転じた。
先行き見通しは「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲9.1（今回調査比 2.9 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

【 特別調査 】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、「実施する（した）」と回答した企業の割合は 40.5% と、前年度に比べ 4.8 ポイントの上昇となった。また「実施しない」と回答した企業の割合は 43.6% と 4.8 ポイントの下落となった。

令和 7 年 9 月

株式会社 フィデア情報総研

目次

I. 県内企業の業況	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 村山南部	8
② 村山北部	9
③ 最上	10
④ 置賜	11
⑤ 庄内田川	12
⑥ 庄内飽海	13
II. 景気の天気予報図	14
III. 特別調査	15
1. 設備投資動向について	15
(1) 設備投資動向	15
(2) 設備投資金額	18
(3) 設備投資目的	19
(4) 設備資金調達方法	21
<参考資料I：地域別・業種別回答率>	22
<参考資料II：調査の概要>	22

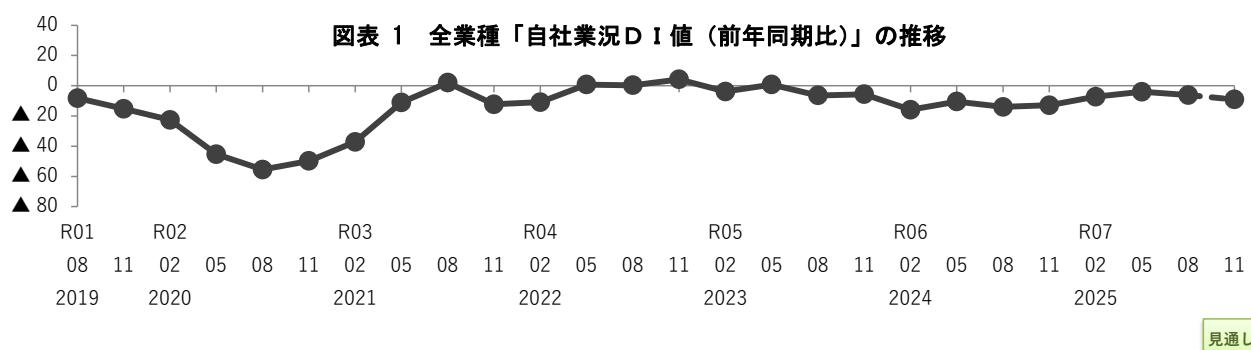
I. 県内企業の業況

1. 概況

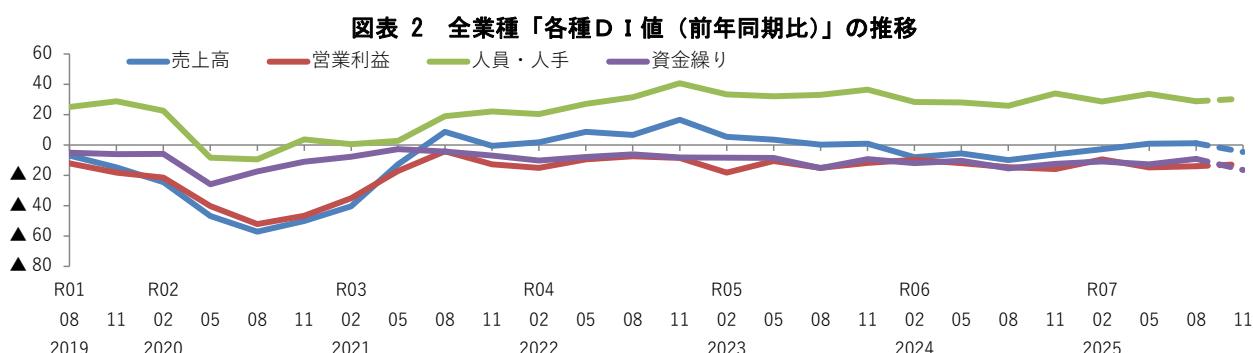
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲6.2（前回調査比2.2ポイント下落）と4期ぶりの悪化となった。「各種D I 値（前年同期比）」をみると、「売上高」はほぼ横ばい、「営業利益」と「資金繰り」は改善となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲9.1（今回調査比2.9ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

製造業は底堅く、建設業も引き続き好調で推移している一方、卸・小売業とサービス業では売上高の低下により業況悪化の動きがみられた。結果として、自社業況の全体感は小幅ながら4期ぶりに悪化した。先行きについては、アメリカの関税政策をめぐる不確実性への警戒感が強く、引き続き慎重な見通しとなっている。



見通し



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業 利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
R 06.08(n=364)	▲ 14.0	(▲ 3.5)	▲ 10.2	▲ 9.9	▲ 14.6	25.8	▲ 15.4
R 06.11(n=385)	▲ 12.9	(1.1)	▲ 11.5	▲ 6.2	▲ 15.8	34.0	▲ 12.4
R 07.02(n=360)	▲ 7.3	(5.6)	▲ 9.6	▲ 2.7	▲ 9.4	28.6	▲ 10.8
R 07.05(n=375)	▲ 4.0	(3.3)	▲ 11.4	0.8	▲ 14.7	33.6	▲ 12.8
R 07.08(n=351)	▲ 6.2	(▲ 2.2)	▲ 6.9	1.2	▲ 14.0	28.8	▲ 9.1
前回調査比	-	-	-	(0.4)	(0.7)	(▲ 4.8)	(3.7)
先行き見通し	▲ 9.1	-	-	▲ 4.6	▲ 12.6	30.5	▲ 16.5
今回調査比	(▲ 2.9)	-	-	(▲ 5.8)	(1.4)	(1.7)	(▲ 7.4)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

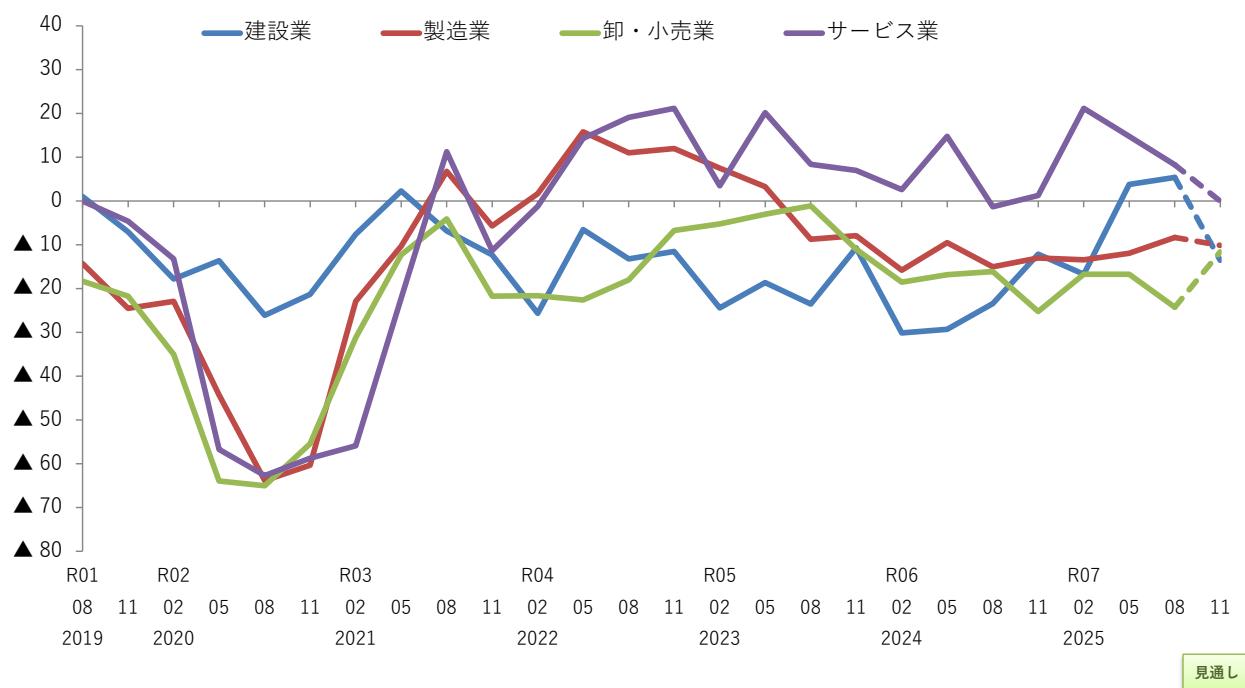
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、建設業が5.4（前回調査比1.6ポイント上昇）、製造業が▲8.3（前回調査比3.6ポイント上昇）、卸・小売業が▲24.2（前回調査比7.5ポイント下落）、サービス業が8.3（前回調査比6.5ポイント下落）と、建設業と製造業は改善、卸・小売業とサービス業は悪化となつた。

業況の先行き見通しは、建設業、製造業、サービス業で悪化、卸・小売業で改善の見込みとなっている。

図表3 業種別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06. 08 (n=364)	▲ 14.0	▲ 23.4	▲ 15.0	▲ 16.1	▲ 1.3
R 06. 11 (n=385)	▲ 12.9	▲ 12.1	▲ 13.0	▲ 25.2	1.3
R 07. 02 (n=360)	▲ 7.3	▲ 16.7	▲ 13.4	▲ 16.7	21.2
R 07. 05 (n=375)	▲ 4.0	3.8	▲ 11.9	▲ 16.7	14.8
R 07. 08 (n=351)	▲ 6.2	5.4	▲ 8.3	▲ 24.2	8.3
前回調査比	(▲ 2.2)	(1.6)	(3.6)	(▲ 7.5)	(▲ 6.5)
先行き見通し	▲ 9.1	▲ 13.5	▲ 10.1	▲ 11.6	0.0
今回調査比	(▲ 2.9)	(▲ 18.9)	(▲ 1.8)	(12.6)	(▲ 8.3)

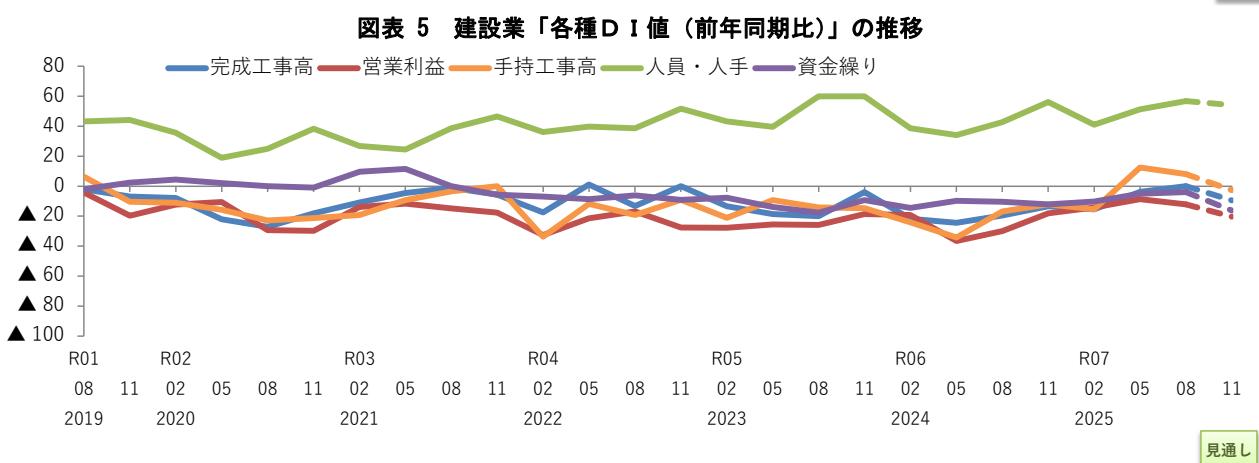
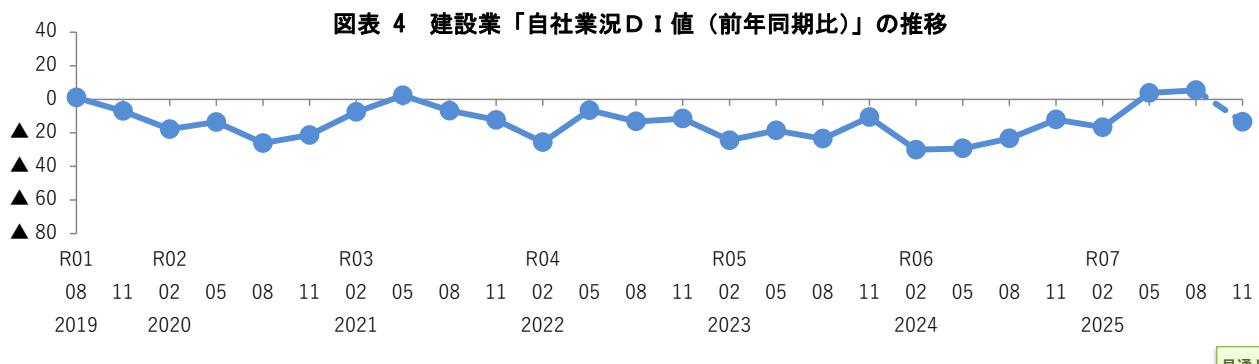
(2) 業種別D I値の動向

① 建設業

「自社の業況D I値（前年同期比）」は5.4（前回調査比1.6ポイント上昇）と、2期連続で改善の動きとなった。「各種D I値（前年同期比）」をみると、「完成工事高」、「資金繰り」は改善、「営業利益」「手持工事高」は悪化となった。「人員・人手」は2期連続でプラス幅が拡大した。

各社のコメントからみると、土木工事関連は災害復旧工事を中心とした受注が引き続き好調である一方、人材不足により新規受注の確保が難しいという声も寄せられた。また、建築工事関連は建築基準法改正により建築確認申請における審査項目の追加等により工事許可の遅延が生じているほか、資材高騰も重なり、悪化している状況がうかがえた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値（前年同期比）」が▲13.5（今回調査比18.9ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。



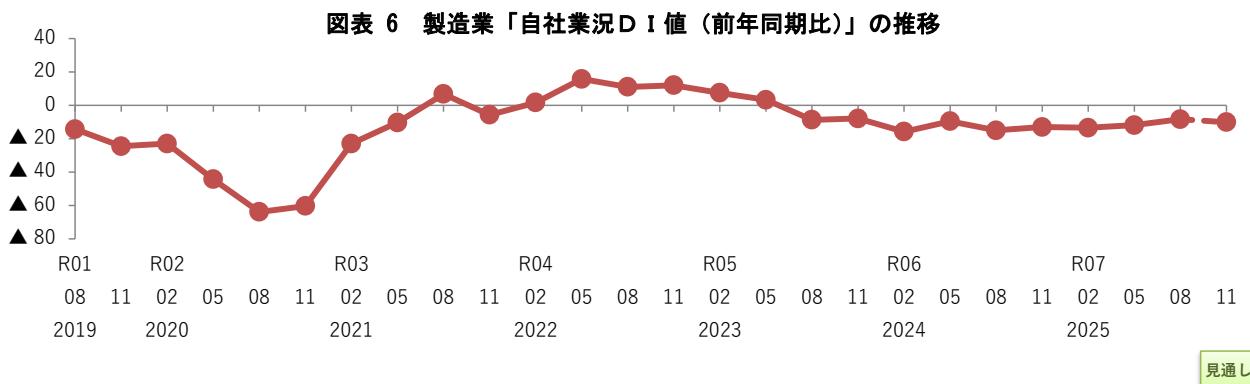
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）		完成工事高	営業利益	手持工事高	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測					
R 06.08(n=77)	▲ 23.4	(5.9)	▲ 22.0	▲ 19.5	▲ 29.9	▲ 16.9	42.8 ▲ 10.4
R 06.11(n=82)	▲ 12.1	(11.3)	▲ 6.5	▲ 13.4	▲ 18.2	▲ 12.2	56.1 ▲ 12.2
R 07.02(n=78)	▲ 16.7	(▲ 4.6)	▲ 14.6	▲ 15.4	▲ 14.1	▲ 15.4	41.0 ▲ 10.2
R 07.05(n=80)	3.8	(20.5)	▲ 16.7	▲ 3.8	▲ 8.7	12.5	51.3 ▲ 5.0
R 07.08(n=74)	5.4	(1.6)	▲ 3.8	0.0	▲ 12.2	8.1	56.8 ▲ 4.0
前回調査比	-	-	-	(3.8)	(▲ 3.5)	(▲ 4.4)	(5.5) (1.0)
先行き見通し	▲ 13.5	-	-	▲ 9.5	▲ 20.3	▲ 2.7	54.1 ▲ 16.2
今回調査比	(▲ 18.9)	-	-	(▲ 9.5)	(▲ 8.1)	(▲ 10.8)	(▲ 2.7) (▲ 12.2)

② 製造業

「自社の業況D I値（前年同期比）」は▲8.3（前回調査比3.6ポイント上昇）と2期連続で改善の動きとなった。「各種D I値（前年同期比）」をみると、「売上高」、「営業利益」、「仕入価格」、「在庫状況」、「資金繰り」の5項目で改善となり、「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

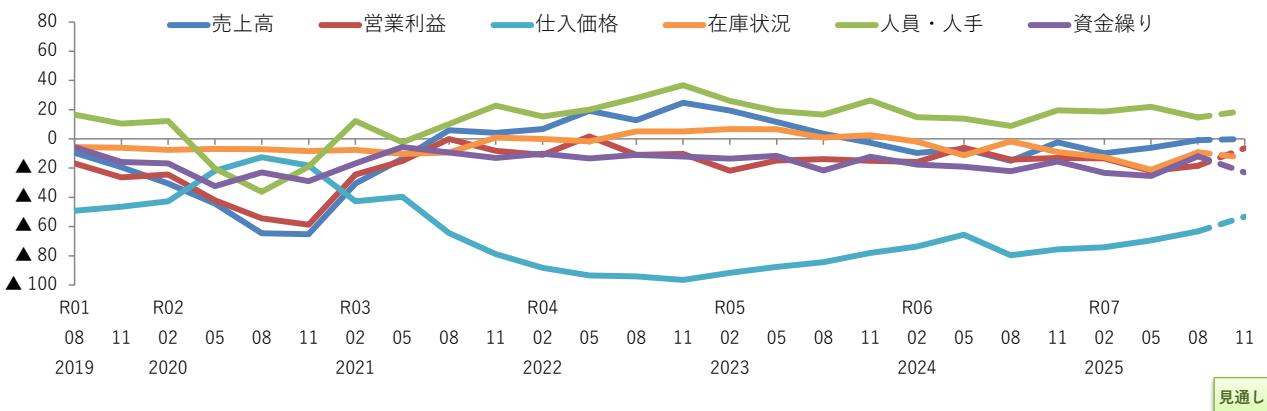
各社のコメントからみると、人件費を含めた値上げ交渉により価格転嫁がさらに進み、一定の業績を確保している状況がうかがえた。アメリカの関税政策による影響への懸念も示されていたが、現時点での直接的な影響は限定的であった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値（前年同期比）」が▲10.1（今回調査比1.8ポイント下落）と悪化が見込まれている。



見通し

図表7 製造業「各種D I値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 06. 08 (n=113)	▲ 15.0	(▲ 5.5)	▲ 7.8	▲ 15.0	▲ 14.2	▲ 79.6	▲ 1.7	8.9
R 06. 11 (n=123)	▲ 13.0	(2.0)	▲ 10.6	▲ 2.4	▲ 13.0	▲ 75.6	▲ 9.0	19.5
R 07. 02 (n=112)	▲ 13.4	(▲ 0.4)	▲ 6.5	▲ 9.8	▲ 13.4	▲ 74.1	▲ 12.5	18.7
R 07. 05 (n=118)	▲ 11.9	(1.5)	▲ 11.6	▲ 6.0	▲ 22.0	▲ 69.5	▲ 21.2	22.0
R 07. 08 (n=109)	▲ 8.3	(3.6)	▲ 11.6	▲ 0.9	▲ 18.4	▲ 63.3	▲ 9.2	14.7
前回調査比	-	-	-	(5.1)	(3.6)	(6.2)	(12.0)	(▲ 7.3)
先行き見通し	▲ 10.1	-	-	0.0	▲ 6.4	▲ 53.2	▲ 12.9	19.2
今回調査比	(▲ 1.8)	-	-	(0.9)	(12.0)	(10.1)	(▲ 3.7)	(4.5)
								(▲ 11.1)

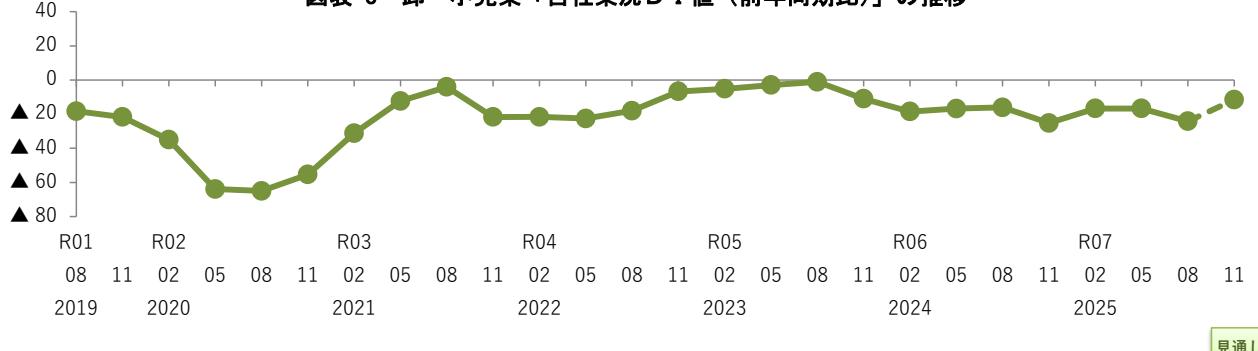
③ 卸・小売業

「自社の業況D I値（前年同期比）」は▲24.2（前回調査比7.5ポイント下落）と悪化となった。「各種D I値（前年同期比）」をみると、「売上高」、「在庫状況」、「資金繰り」の3項目は悪化、「営業利益」「仕入価格」、は改善となった。「人員・人手」はプラス幅が縮小した。

各社のコメントからみると、仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁したことで販売数量が減少し、売り上げが下押しされている状況がうかがえた。収益環境が厳しさを増すなかで、経費削減などの対応が進めることで利益確保につなげる動きもみられた。また、食品関係では、原材料となる農作物について天候不順による値上げや収量減少を懸念する声も寄せられた。

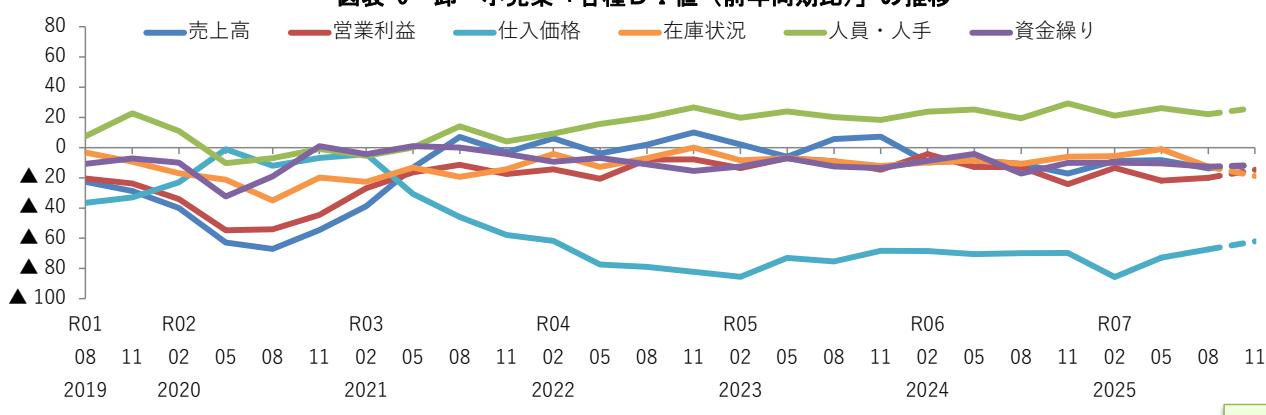
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値（前年同期比）」が▲11.6（今回調査比12.6ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表8 卸・小売業「自社業況D I値（前年同期比）」の推移



見通し

図表9 卸・小売業「各種D I値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I値

卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測						
R 06.08 (n=93)	▲ 16.1 (0.7)	▲ 5.3	▲ 10.8	▲ 12.9	▲ 69.9	▲ 10.8	19.4	▲ 17.2
R 06.11 (n=99)	▲ 25.2 (▲ 9.1)	▲ 21.5	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 69.7	▲ 6.1	29.3	▲ 10.1
R 07.02 (n=90)	▲ 16.7 (8.5)	▲ 15.2	▲ 8.9	▲ 13.4	▲ 85.6	▲ 5.6	21.1	▲ 10.0
R 07.05 (n=96)	▲ 16.7 (0.0)	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 21.9	▲ 72.9	▲ 1.1	26.1	▲ 10.4
R 07.08 (n=95)	▲ 24.2 (▲ 7.5)	▲ 15.6	▲ 13.7	▲ 20.0	▲ 67.4	▲ 12.6	22.1	▲ 12.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 5.4)	(1.9)	(5.5)	(▲ 11.5)	(▲ 4.0)
先行き見通し	▲ 11.6	-	-	▲ 11.6	▲ 14.7	▲ 62.1	▲ 18.9	26.3
今回調査比	(12.6)	-	-	(2.1)	(5.3)	(5.3)	(▲ 6.3)	(4.2)
								(1.1)

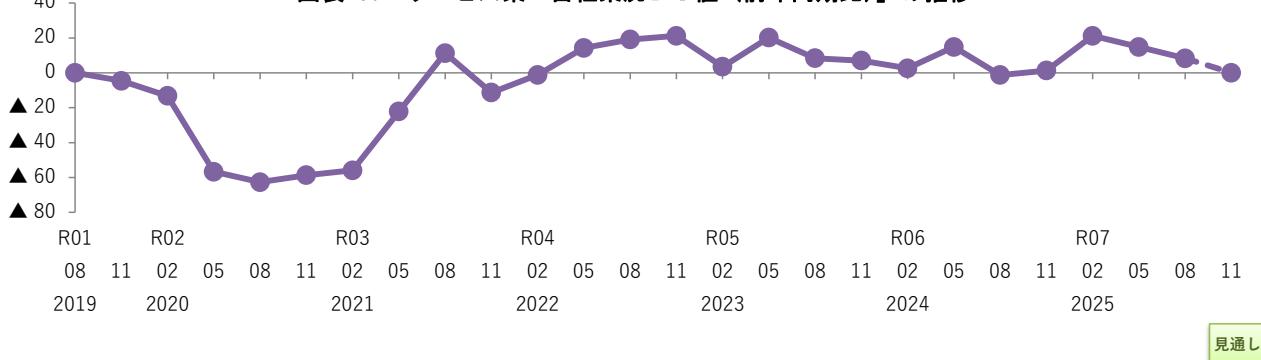
④ サービス業

「自社の業況D I値（前年同期比）」は8.3（前回調査比6.5ポイント下落）と2期連続の悪化となった。各種D I値（前年同期比）をみると、「売上高」で小幅ながら悪化し、「営業利益」と「資金繰り」はほぼ横ばいの推移となった。「人員人手」はプラス幅が縮小した。

各社のコメントからみると、自動車整備業などでは慢性的な人材不足を背景に、人員確保のための対策として技術料の単価を引き上げ、その分を従業員の待遇改善に充てている状況がうかがえた。

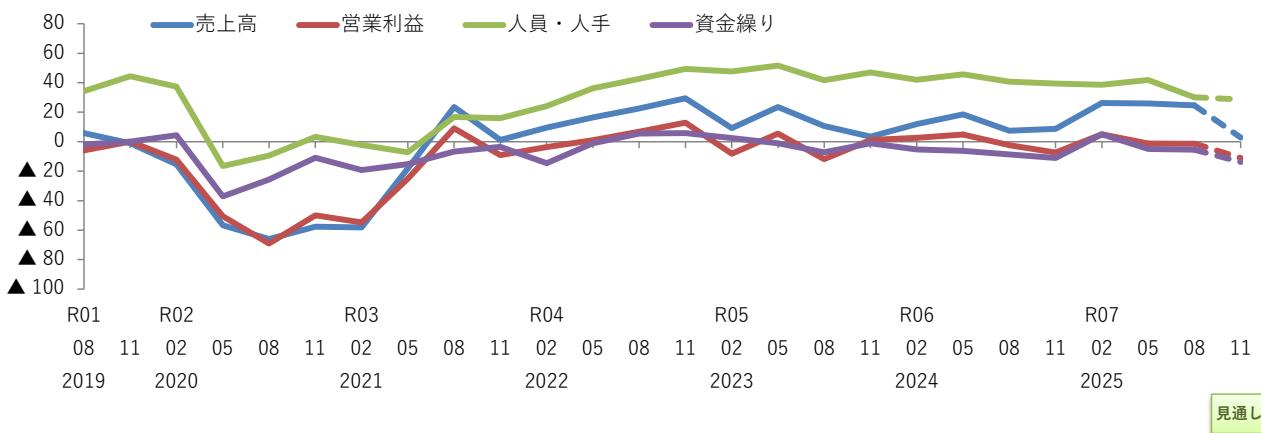
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値（前年同期比）」が0.0（今回調査比8.3ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況D I値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 11 サービス業「各種D I値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I値

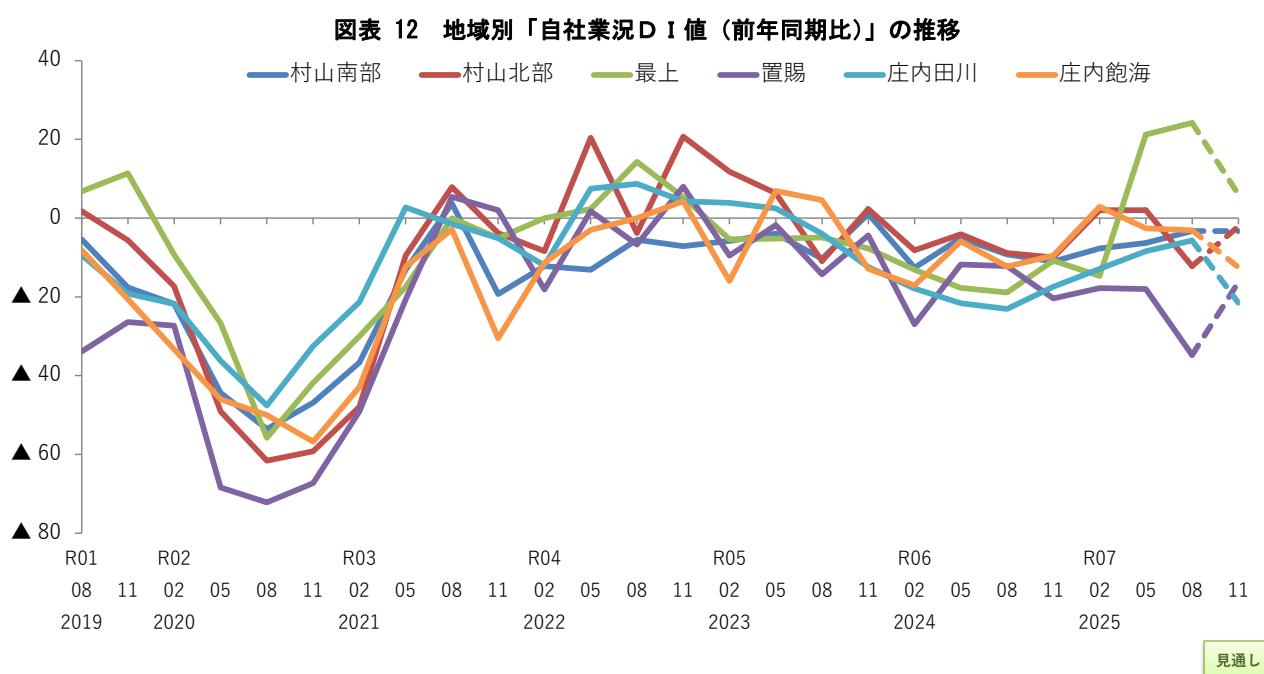
サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）		売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測				
R 06.08 (n=81)	▲ 1.3	(▲ 16.1)	▲ 7.4	7.4	▲ 2.4	▲ 8.6
R 06.11 (n=81)	1.3	(2.6)	▲ 6.2	8.7	▲ 7.4	▲ 11.1
R 07.02 (n=80)	21.2	(19.9)	▲ 2.5	26.3	5.0	38.7
R 07.05 (n=81)	14.8	(▲ 6.4)	3.8	25.9	▲ 1.2	▲ 5.0
R 07.08 (n=73)	8.3	(▲ 6.5)	5.0	24.7	▲ 1.3	▲ 5.4
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.2)	(▲ 0.1)	(▲ 11.7)
先行き見通し	0.0	-	-	2.8	▲ 11.0	▲ 13.7
今回調査比	(▲ 8.3)	-	-	(▲ 21.9)	(▲ 9.7)	(▲ 1.5)

3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲3.3（前回調査比3.0ポイント上昇）、村山北部が▲12.2（前回調査比14.2ポイント下落）、最上が24.2（前回調査比3.0ポイント上昇）、置賜が▲34.8（前回調査比16.8ポイント下落）、庄内田川が▲5.7（前回調査比2.7ポイント上昇）、庄内飽海が▲3.1（前回調査比0.5ポイント下落）と、村山南部、最上、庄内田川の3地域は改善、村山北部、置賜、庄内飽海の3地域は悪化となった。村山北部ではDI値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると村山北部と置賜は改善、最上、庄内田川、庄内飽海は悪化、村山南部は横ばいで推移する見込みとなっている。



前年同期比の自社業況DI値

地域別	自社業況（前年同期比）						
	調査時（サンプル数）	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川
R 06. 08 (n=364)	▲ 14.0	▲ 9.2	▲ 8.9	▲ 18.9	▲ 12.2	▲ 23.1	▲ 12.3
R 06. 11(n=385)	▲ 12.9	▲ 11.0	▲ 10.0	▲ 10.8	▲ 20.4	▲ 17.4	▲ 9.5
R 07. 02(n=360)	▲ 7.3	▲ 7.7	2.0	▲ 14.7	▲ 17.8	▲ 12.9	2.9
R 07. 05(n=375)	▲ 4.0	▲ 6.3	2.0	21.2	▲ 18.0	▲ 8.4	▲ 2.6
R 07. 08(n=351)	▲ 6.2	▲ 3.3	▲ 12.2	24.2	▲ 34.8	▲ 5.7	▲ 3.1
前回調査比	(▲ 2.2)	(3.0)	(▲ 14.2)	(3.0)	(▲ 16.8)	(2.7)	(▲ 0.5)
先行き見通し	▲ 9.1	▲ 3.3	▲ 2.1	6.0	▲ 16.3	▲ 21.5	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 2.9)	(0.0)	(10.1)	(▲ 18.2)	(18.5)	(▲ 15.8)	(▲ 9.4)

(2) 地域別DI値の動向

① 村山南部

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲3.3（前回調査比3.0ポイント上昇）と3期連続で改善の動きとなった。業種別にみると、建設業、製造業、サービス業は改善、卸・小売業は悪化となっている。

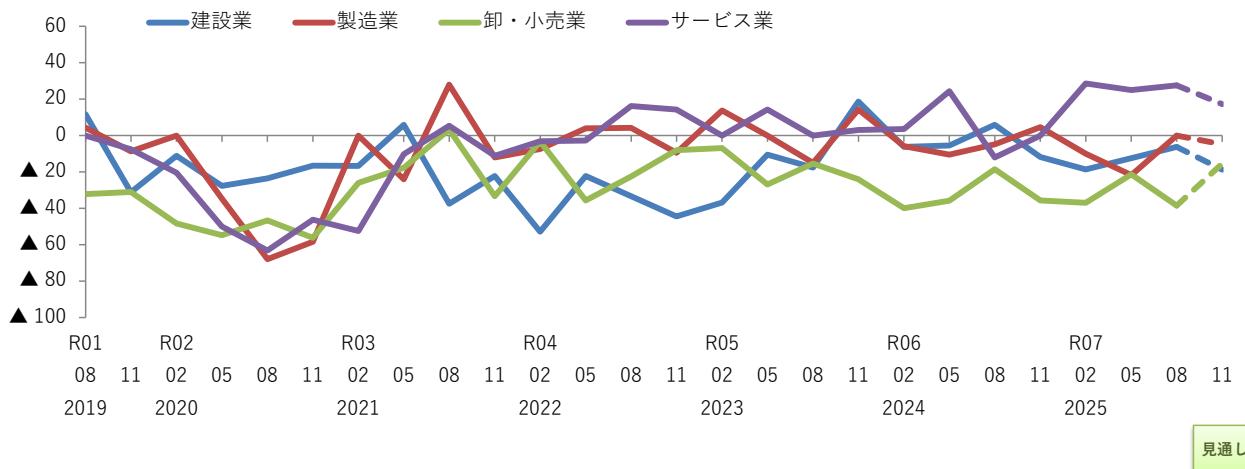
業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲3.3（今回調査比±0.0ポイント）と横ばいで推移する見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 14 村山南部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況DI値

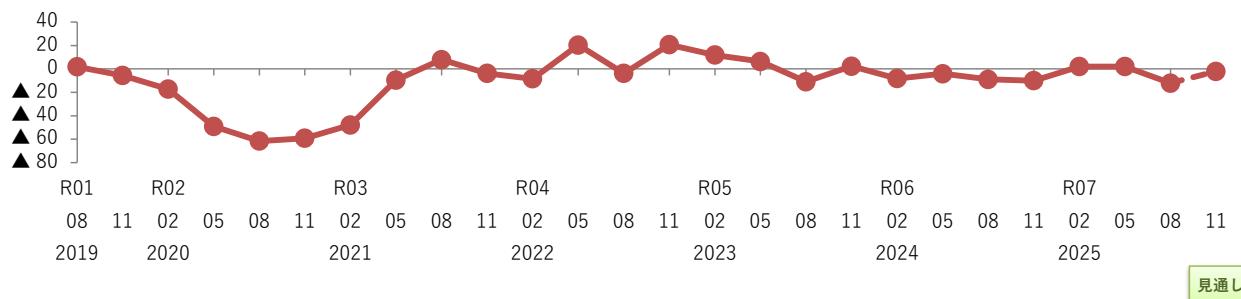
村山南部	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06. 08(n=98)	▲ 9.2	(▲ 4.1)	▲ 9.2	5.9	▲ 4.8	▲ 18.5	▲ 12.1
R 06. 11(n=100)	▲ 11.0	(▲ 1.8)	▲ 5.1	▲ 11.8	4.6	▲ 35.7	0.0
R 07. 02(n=91)	▲ 7.7	(3.3)	▲ 9.0	▲ 18.7	▲ 10.0	▲ 37.0	28.6
R 07. 05(n=95)	▲ 6.3	(1.4)	▲ 2.2	▲ 12.5	▲ 21.8	▲ 21.4	25.0
R 07. 08(n=92)	▲ 3.3	(3.0)	▲ 2.1	▲ 6.2	0.0	▲ 38.5	27.6
前回調査比	-	-	-	(6.3)	(21.8)	(▲ 17.1)	(2.6)
先行き見通し	▲ 3.3	-	-	▲ 18.8	▲ 4.8	▲ 15.4	17.2
今回調査比	(0.0)	-	-	(▲ 12.6)	(▲ 4.8)	(23.1)	(▲ 10.4)

② 村山北部

「自社の業況D I値（前年同期比）」は▲12.2（前回調査比14.2ポイント下落）と悪化となり、マイナスに転じた。業種別にみると、建設業とサービス業は大幅に改善となった。一方、製造業と卸・小売業は大幅に悪化となり、D I値がマイナスに転じた。

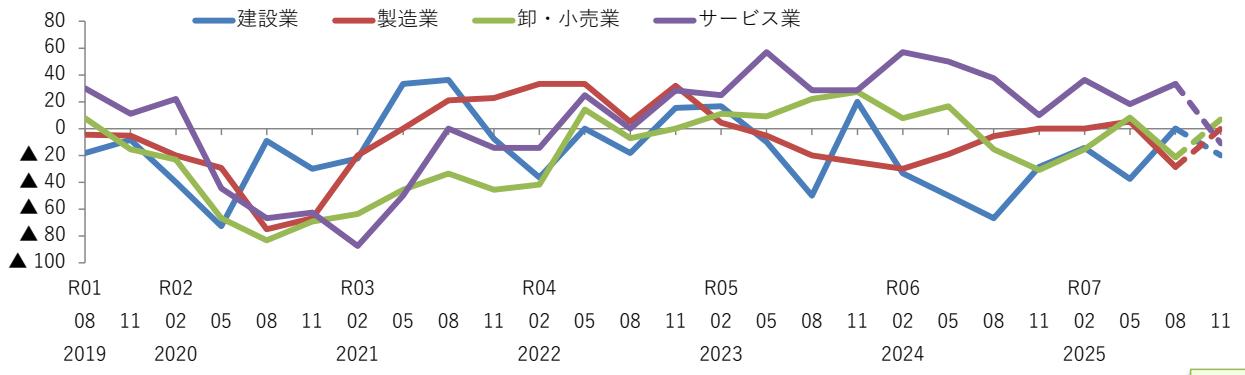
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値（前年同期比）」が▲2.1（今回調査比10.1ポイント上昇）と改善が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況D I値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 16 村山北部「業種別・自社業況D I値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I値

村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06. 08 (n=45)	▲ 8.9	(▲ 4.8)	▲ 10.2	▲ 66.7	▲ 5.6	▲ 15.4	37.5
R 06. 11 (n=50)	▲ 10.0	(▲ 1.1)	▲ 4.5	▲ 28.6	0.0	▲ 30.8	10.0
R 07. 02 (n=50)	2.0	(12.0)	▲ 10.0	▲ 14.3	0.0	▲ 15.4	36.4
R 07. 05 (n=50)	2.0	(0.0)	▲ 22.0	▲ 37.5	5.3	8.3	18.2
R 07. 08 (n=49)	▲ 12.2	(▲ 14.2)	▲ 10.0	0.0	▲ 28.6	▲ 21.4	33.3
前回調査比	-	-	-	(37.5)	(▲ 33.9)	(▲ 29.7)	(15.1)
先行き見通し	▲ 2.1	-	-	▲ 20.0	0.0	7.1	▲ 11.1
今回調査比	(10.1)	-	-	(▲ 20.0)	(28.6)	(28.5)	(▲ 44.4)

③ 最 上

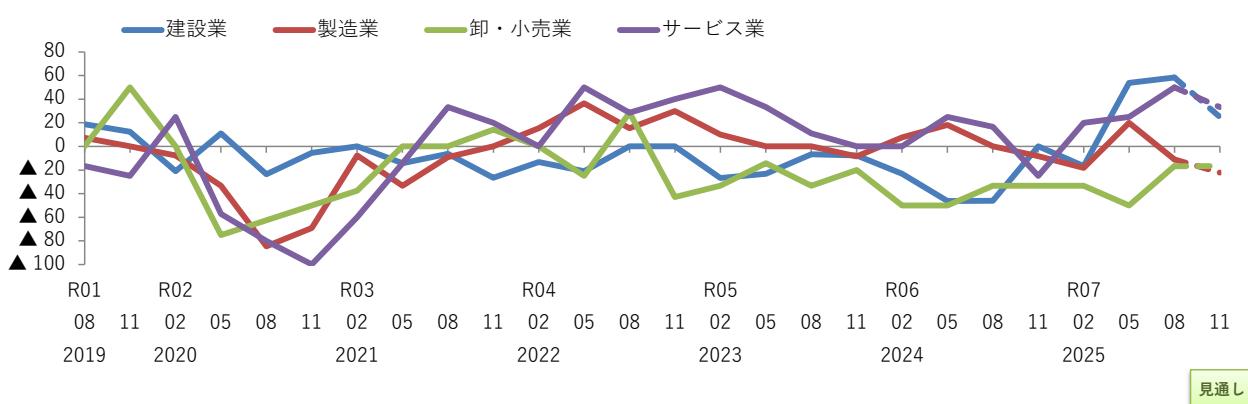
「自社の業況D I 値（前年同期比）」は24.2（前回調査比3.0ポイント上昇）と2期連続で改善となった。業種別にみると、建設業、卸・小売業、サービス業の3業種では改善となった。一方、製造業は大幅に悪化となり、D I 値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が6.0（今回調査比18.2ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

表 17 最上「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I 値

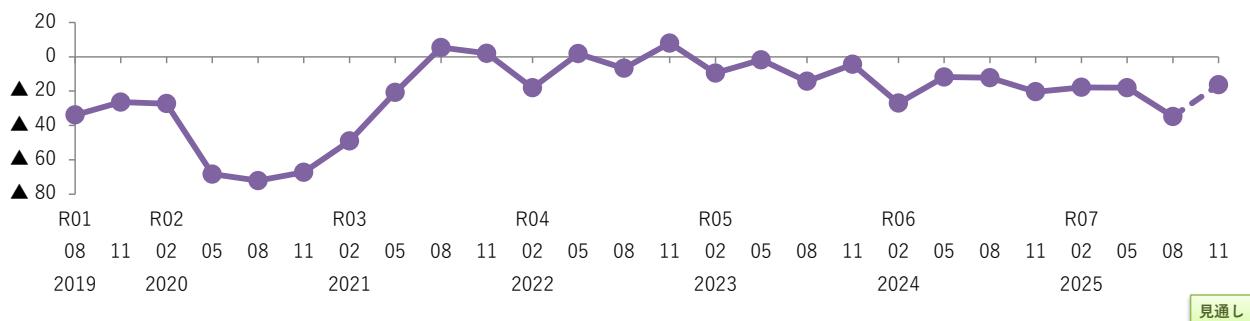
最上	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06.08(n=37)	▲ 18.9	(▲ 1.2)	▲ 20.6	▲ 46.1	0.0	▲ 33.3	16.6
R 06.11(n=37)	▲ 10.8	(8.1)	0.0	0.0	▲ 8.3	▲ 33.3	▲ 25.0
R 07.02(n=34)	▲ 14.7	(▲ 3.9)	16.2	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 33.3	20.0
R 07.05(n=33)	21.2	(35.9)	2.9	53.8	20.0	▲ 50.0	25.0
R 07.08(n=33)	24.2	(3.0)	▲ 3.0	58.4	▲ 11.1	▲ 16.7	50.0
前回調査比	-	-	-	(4.6)	(▲ 31.1)	(33.3)	(25.0)
先行き見通し	6.0	-	-	25.0	▲ 22.2	▲ 16.6	33.3
今回調査比	(▲ 18.2)	-	-	(▲ 33.4)	(▲ 11.1)	(0.1)	(▲ 16.7)

④ 置 賦

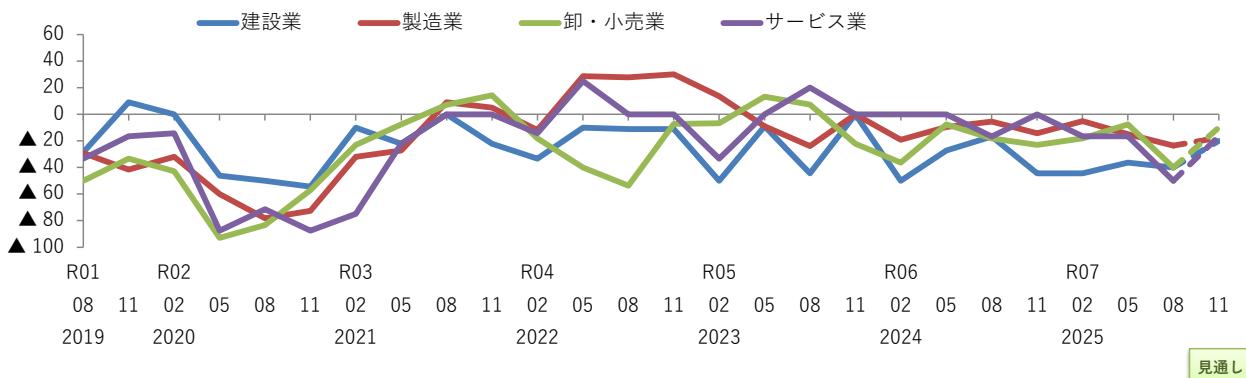
「自社の業況D I値（前年同期比）」は▲34.8（前回調査比16.8ポイント下落）と大幅に悪化となった。業種別にみると、すべての業種で悪化となり、特に卸・小売業とサービス業は大幅に悪化した。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I値（前年同期比）」が▲16.3（今回調査比18.5ポイント上昇）と大幅な改善が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況D I値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況D I値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況D I値

置賜	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）				
	調査時（サンプル数）	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06.08(n=41)		▲ 12.2	(▲ 0.4)	3.9	▲ 16.7	▲ 5.6	▲ 18.2	▲ 16.7
R 06.11(n=49)		▲ 20.4	(▲ 8.2)	▲ 9.7	▲ 44.5	▲ 14.3	▲ 23.0	0.0
R 07.02(n=45)		▲ 17.8	(2.6)	▲ 16.3	▲ 44.5	▲ 5.2	▲ 18.2	▲ 16.6
R 07.05(n=50)		▲ 18.0	(▲ 0.2)	▲ 15.6	▲ 36.3	▲ 15.0	▲ 7.7	▲ 16.6
R 07.08(n=43)		▲ 34.8	(▲ 16.8)	▲ 8.0	▲ 40.0	▲ 23.6	▲ 40.0	▲ 50.0
前回調査比		-	-	-	(▲ 3.7)	(▲ 8.6)	(▲ 32.3)	(▲ 33.4)
先行き見通し		▲ 16.3	-	-	▲ 20.0	▲ 17.6	▲ 10.0	▲ 16.6
今回調査比		(18.5)	-	-	(20.0)	(6.0)	(30.0)	(33.4)

⑤ 庄内田川

「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲5.7（前回調査比 2.7 ポイント上昇）と4期連続の改善となった。業種別にみると、卸・小売業とサービス業は悪化となり、建設業は横ばいとなった。製造業は大幅に改善し、D I 値がプラスに転じた。

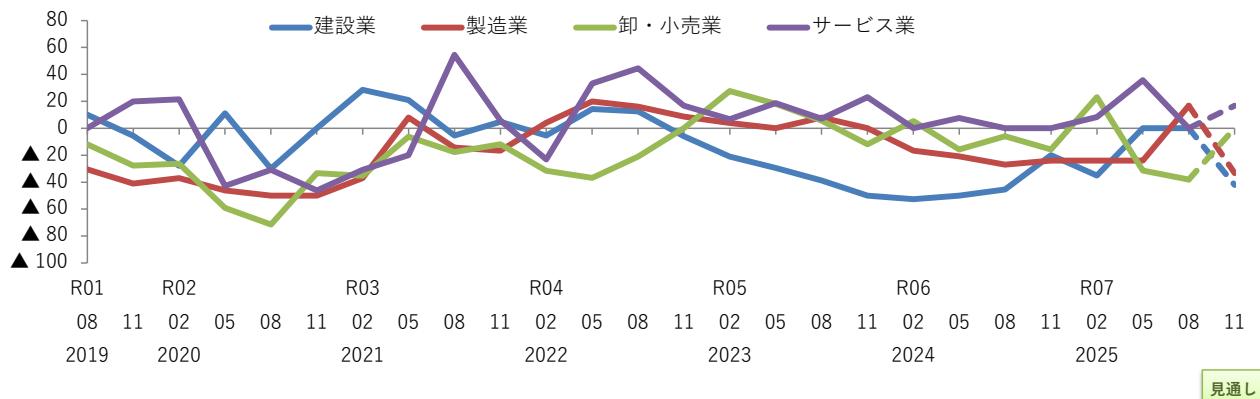
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲21.5（今回調査 15.8 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 22 庄内田川「業種別・自社業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06. 08(n=78)	▲ 23.1	(▲ 1.5)	▲ 13.5	▲ 45.5	▲ 27.0	▲ 5.9	0.0
R 06. 11(n=75)	▲ 17.4	(5.7)	▲ 21.8	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 15.7	0.0
R 07. 02(n=70)	▲ 12.9	(4.5)	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 24.0	23.1	8.4
R 07. 05(n=72)	▲ 8.4	(4.5)	▲ 35.7	0.0	▲ 24.0	▲ 31.3	35.7
R 07. 08(n=70)	▲ 5.7	(2.7)	▲ 16.7	0.0	16.7	▲ 38.1	0.0
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(40.7)	(▲ 6.8)	(▲ 35.7)
先行き見通し	▲ 21.5	-	-	▲ 42.1	▲ 33.4	0.0	16.7
今回調査比	(▲ 15.8)	-	-	(▲ 42.1)	(▲ 50.1)	(38.1)	(16.7)

⑥ 庄内飽海

「自社の業況D I 値（前年同期比）」は▲3.1（前回調査比 0.5 ポイント下落）と悪化となった。業種別にみると、建設業とサービス業は大幅な悪化となり、製造業と卸・小売業は改善した。卸・小売業はD I 値がプラスに転じた。

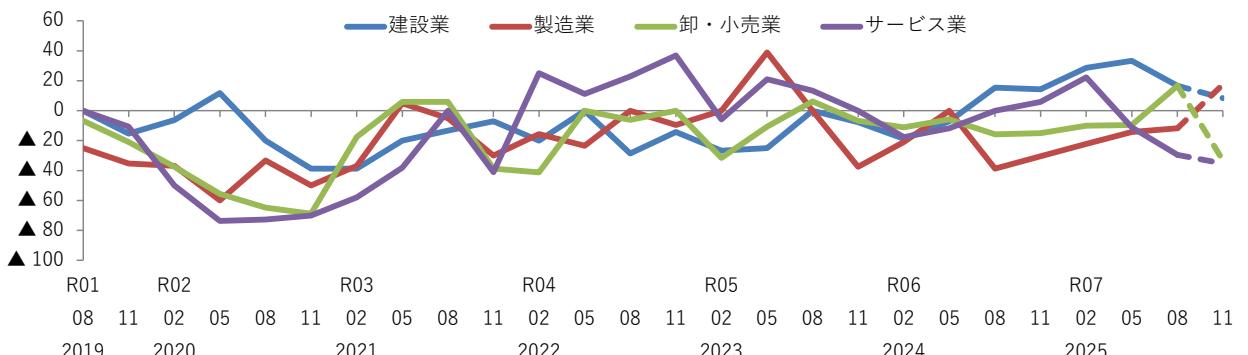
業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値（前年同期比）」が▲12.5（今回調査比 9.4 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況D I 値

庄内飽海	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
R 06. 08 (n=65)	▲ 12.3	(▲ 6.4)	▲ 13.2	15.4	▲ 38.8	▲ 15.8	0.0
R 06. 11 (n=74)	▲ 9.5	(2.8)	▲ 21.5	14.3	▲ 30.4	▲ 15.0	5.9
R 07. 02 (n=70)	2.9	(12.4)	▲ 8.1	28.6	▲ 22.2	▲ 10.0	22.2
R 07. 05 (n=75)	▲ 2.6	(▲ 5.5)	4.3	33.3	▲ 14.3	▲ 9.6	▲ 11.1
R 07. 08 (n=64)	▲ 3.1	(▲ 0.5)	▲ 2.6	16.6	▲ 11.8	16.7	▲ 29.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 16.7)	(2.5)	(26.3)	(▲ 18.4)
先行き見通し	▲ 12.5	-	-	8.3	17.6	▲ 33.3	▲ 35.3
今回調査比	(▲ 9.4)	-	-	(▲ 8.3)	(29.4)	(▲ 50.0)	(▲ 5.8)

II. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

山形県



今期の業況

来期の見通し

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI≥30	30>DI≥10	10>DI≥-10	-10>DI≥-30	-30>DI



庄内飽海



最上



庄内田川



村山北部



置賜



村山南部



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	云	云	雨	晴	雨	云	云
建設業	云	云	雨	晴	雨	云	晴
製造業	云	云	雨	雨	雨	晴	雨
卸・小売業	雨	雨	雨	雨	雨	晴	晴
サービス業	云	晴	晴	晴	晴	晴	雨



来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	云	云	雨	云	雨	雨	雨
建設業	雨	雨	雨	晴	雨	雨	雨
製造業	雨	雨	雨	雨	雨	雨	晴
卸・小売業	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨
サービス業	云	晴	晴	晴	晴	晴	晴

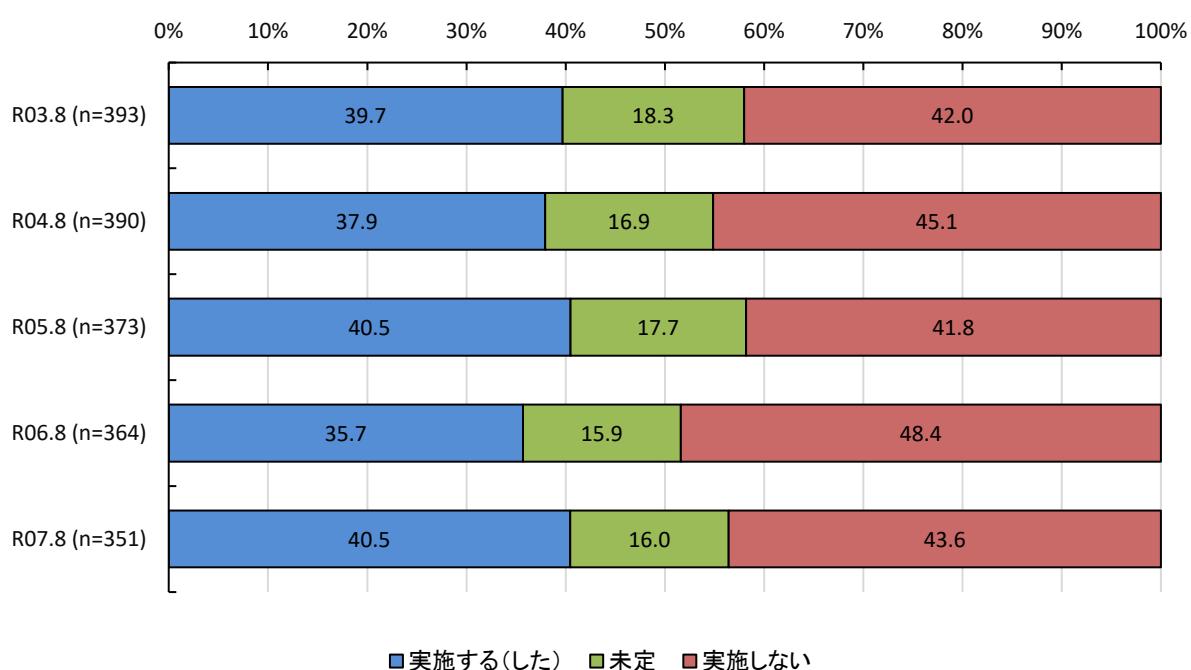
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

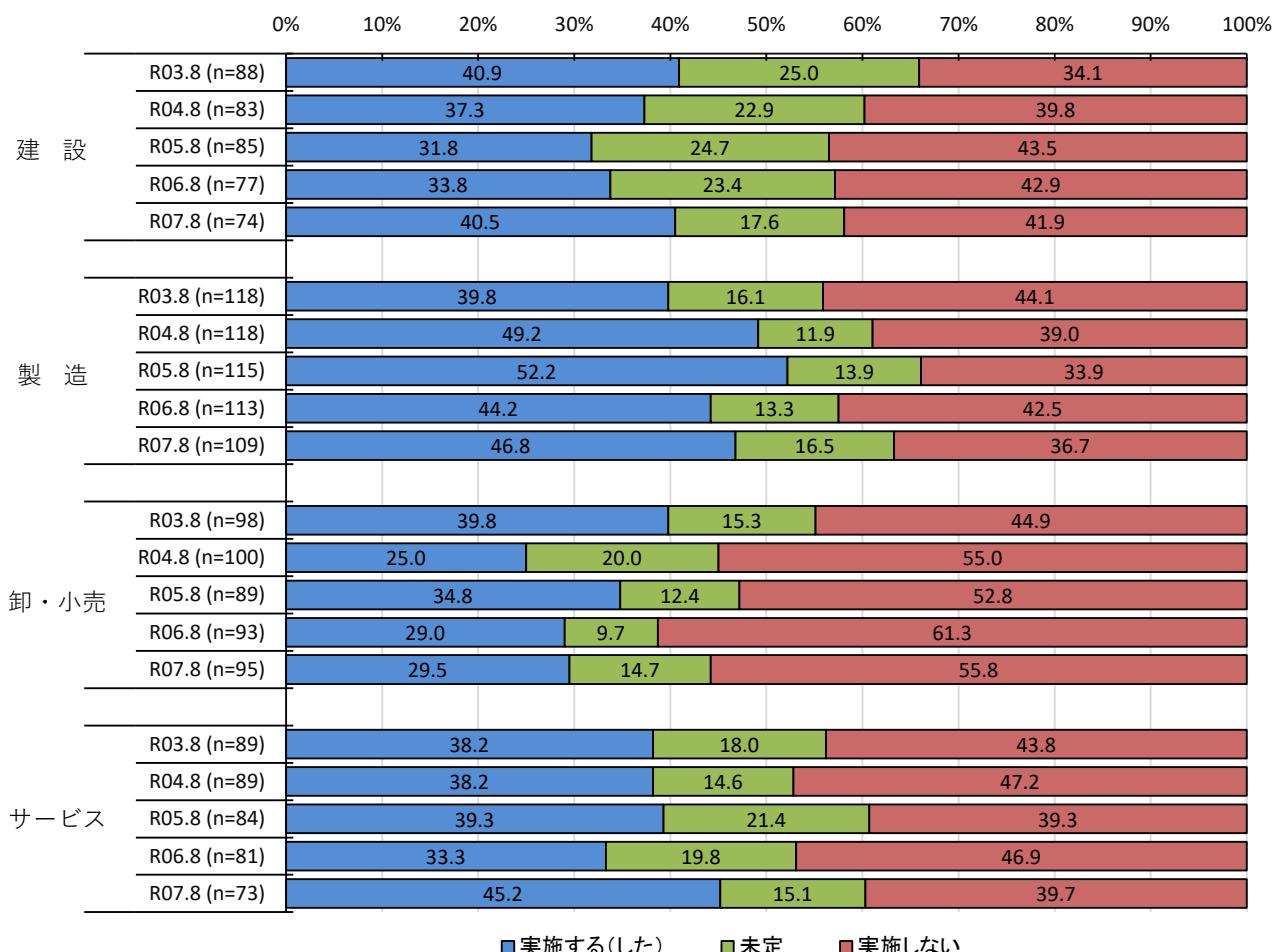
令和7年度中に設備投資を「実施する（した）」と回答した企業の割合は40.5%と、前年度に比べ4.8ポイントの上昇となった。また「実施しない」と回答した企業の割合は43.6%と4.8ポイントの下落となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



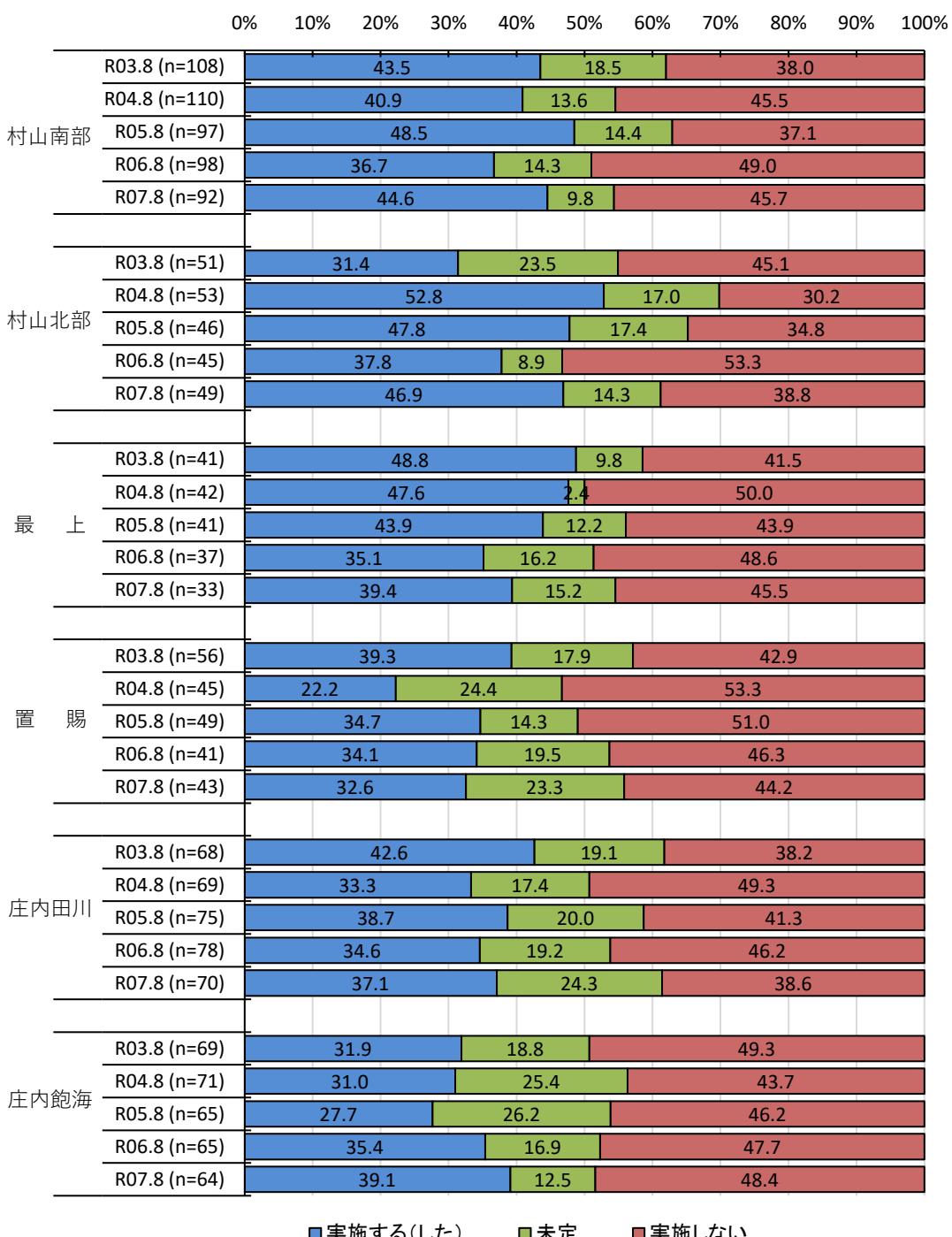
業種別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、建設業が40.5%（前年度比6.7ポイント上昇）、製造業が46.8%（前年度比2.6ポイント上昇）、卸・小売業が29.5%（前年度比0.5ポイント上昇）、サービス業が45.2%（前年度比11.9ポイント上昇）と、すべての業種で上昇した。

図表26 業種別 「設備投資動向」の推移



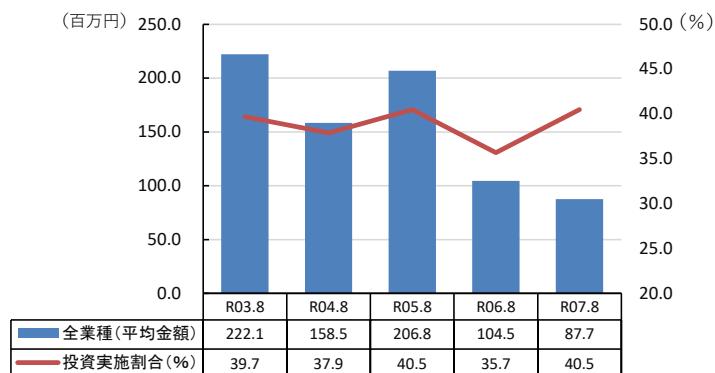
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は44.6%（前年度比7.9ポイント上昇）、村山北部は46.9%（前年度比9.1ポイント上昇）、最上は39.4%（前年度比4.3ポイント上昇）、置賜は32.6%（前年度比1.5ポイント下落）、庄内田川は37.1%（前年度比2.5ポイント上昇）、庄内飽海は39.1%（前年度比3.7ポイント上昇）となり、置賜を除く5地域で上昇となった。

図表27 地域別 「設備投資動向」の推移



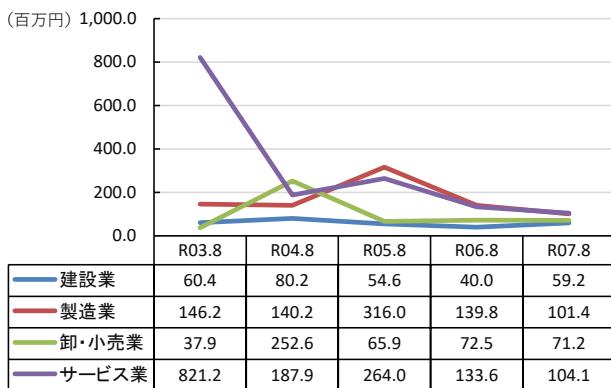
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



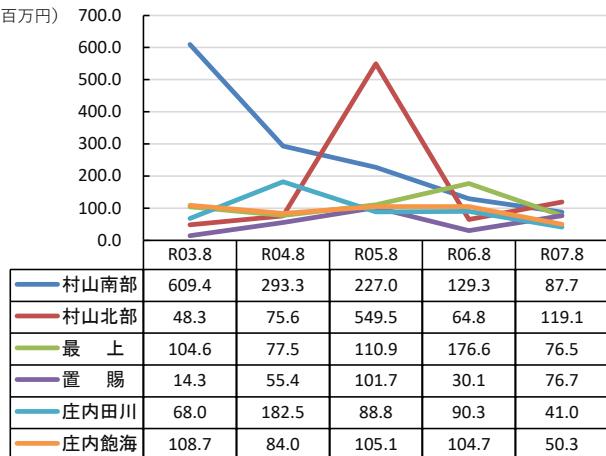
設備投資を「実施する（した）」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額（予定含む）は8,770万円で、前年度より1,680万円減少した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が5,920万円（前年度比1,920万円増加）、製造業が1億140万円（前年度比3,840万円減少）、卸・小売業が7,120万円（前年度比130万円減少）、サービス業が1億410万円（前年度比2,950万円減少）となり、建設業で増加、製造業、卸・小売業、サービス業で減少となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

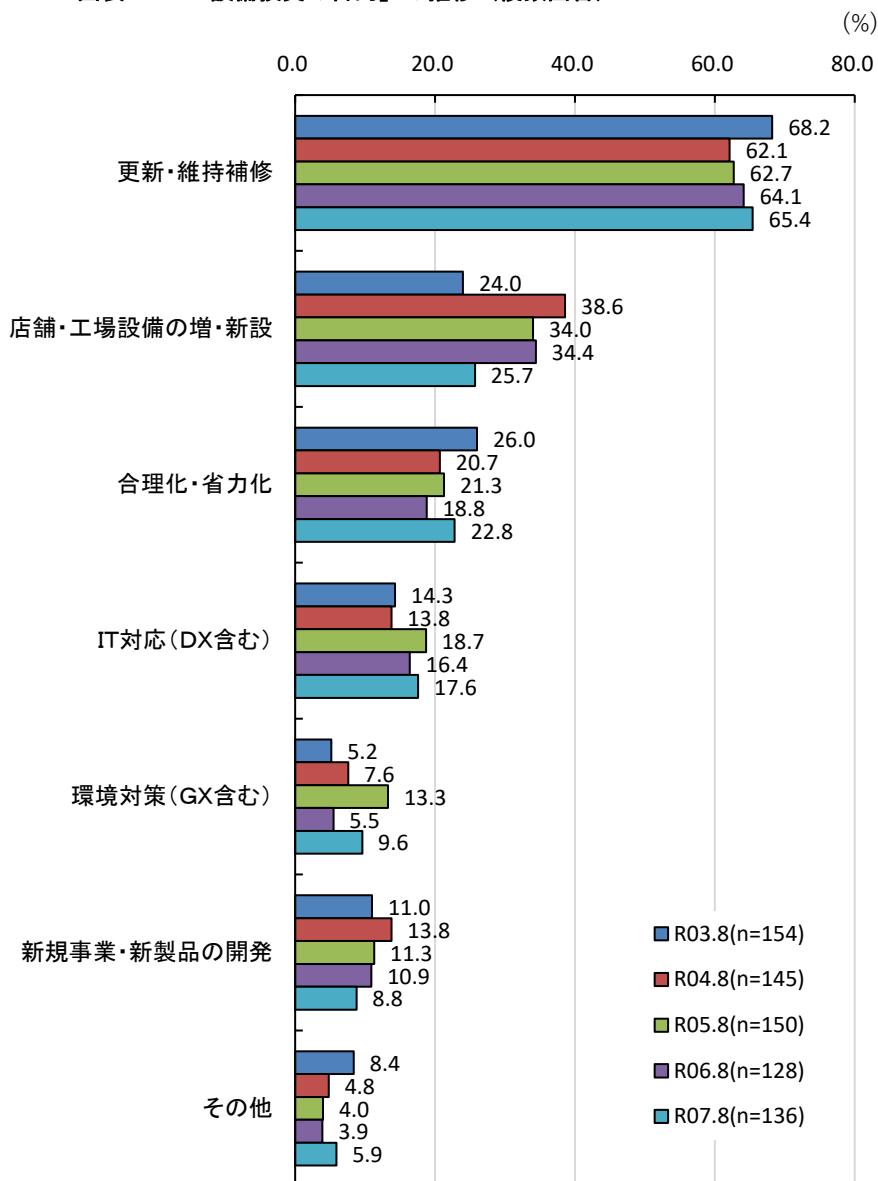


地域別にみると、村山南部が8,770万円（前年度比4,160万円減少）、村山北部が1億1,910万円（前年度比5,430万円増加）、最上が7,650万円（前年度比1億10万円減少）、置賜が7,670万円（前年度比4,660万円増加）、庄内田川が4,100万円（前年度比4,930万円減少）、庄内飽海が5,030万円（前年度比5,440万円減少）となり、村山北部、置賜で増加、村山南部、最上、庄内田川、庄内飽海で減少となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持補修」と回答した企業の割合が 65.4% と最も高くなった。次いで、「店舗・工場設備の増・新設」が 25.7%、「合理化・省力化」が 22.8%、「IT 対応（DX 含む）」が 17.6% と続いた。

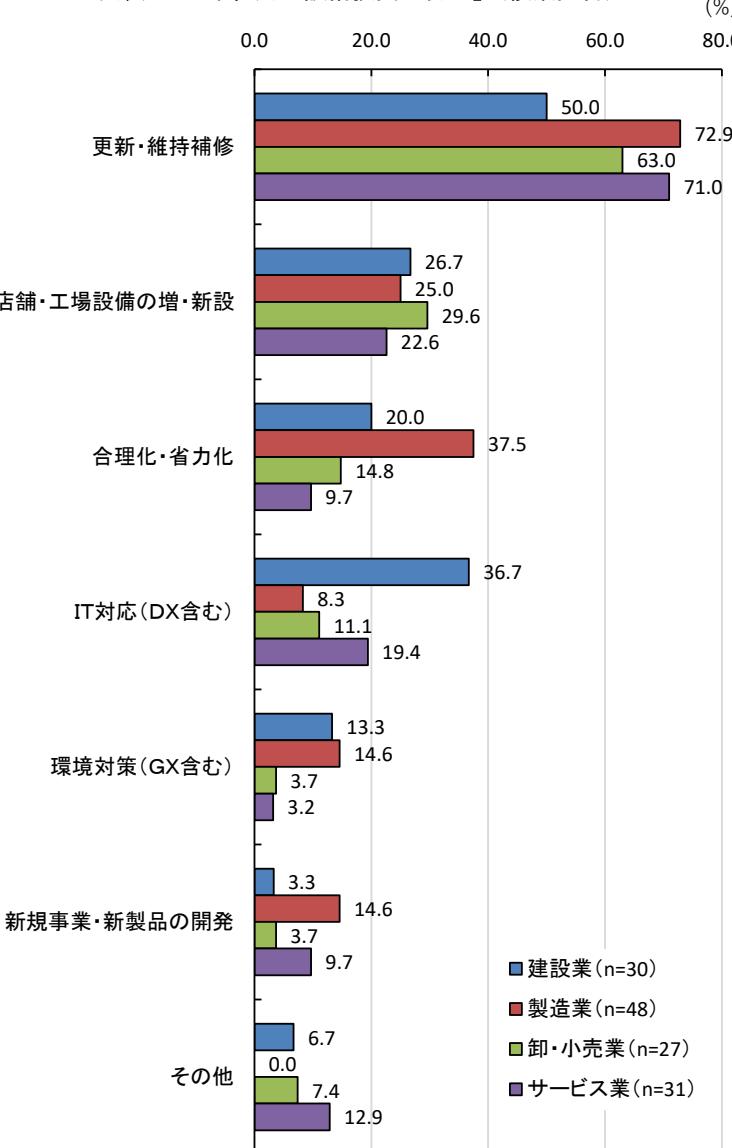
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



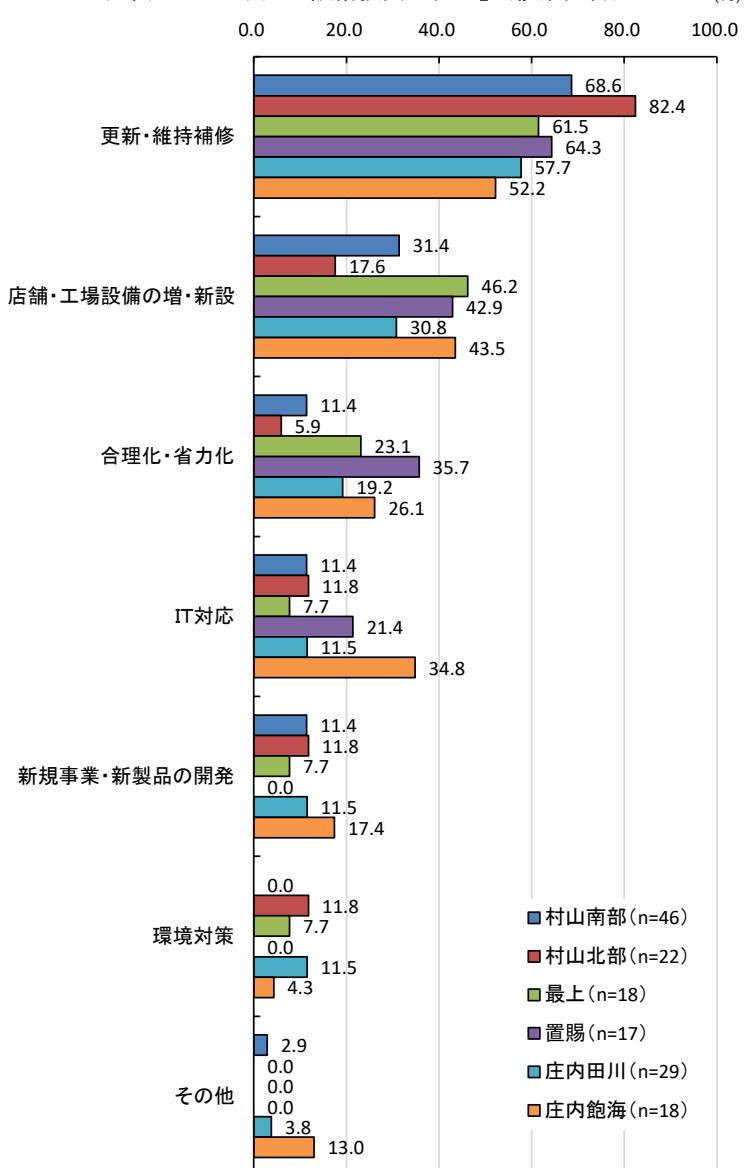
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持補修」が最も高い割合となった。建設業では「IT対応（DX含む）」が第2位となっており、製造業では「合理化・省力化」が第2位となっている。卸・小売業、サービス業では「店舗・工場設備の増・新設」が第2位となっている。

地域別にみると、すべての地域で「更新・維持補修」が最も高い割合となり、次いで「店舗・工場設備の増・新設」が第2位となっている。第3位以下は地域によってばらつきがみられる。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答)



図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答)



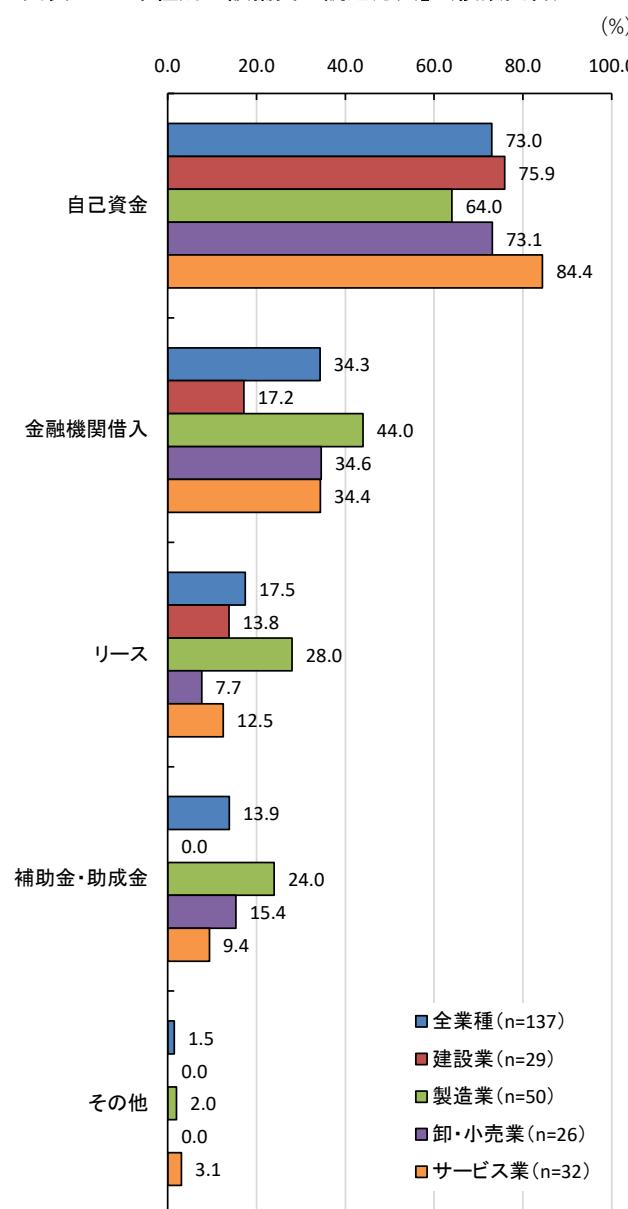
(4) 設備資金調達方法

設備資金の主な調達方法について尋ねたところ、全業種でみると「自己資金」と回答した企業の割合が73.0%と最も高くなった。次いで、「金融機関借入」が34.3%、「リース」が17.5%、「補助金・助成金」が13.9%と続いた。

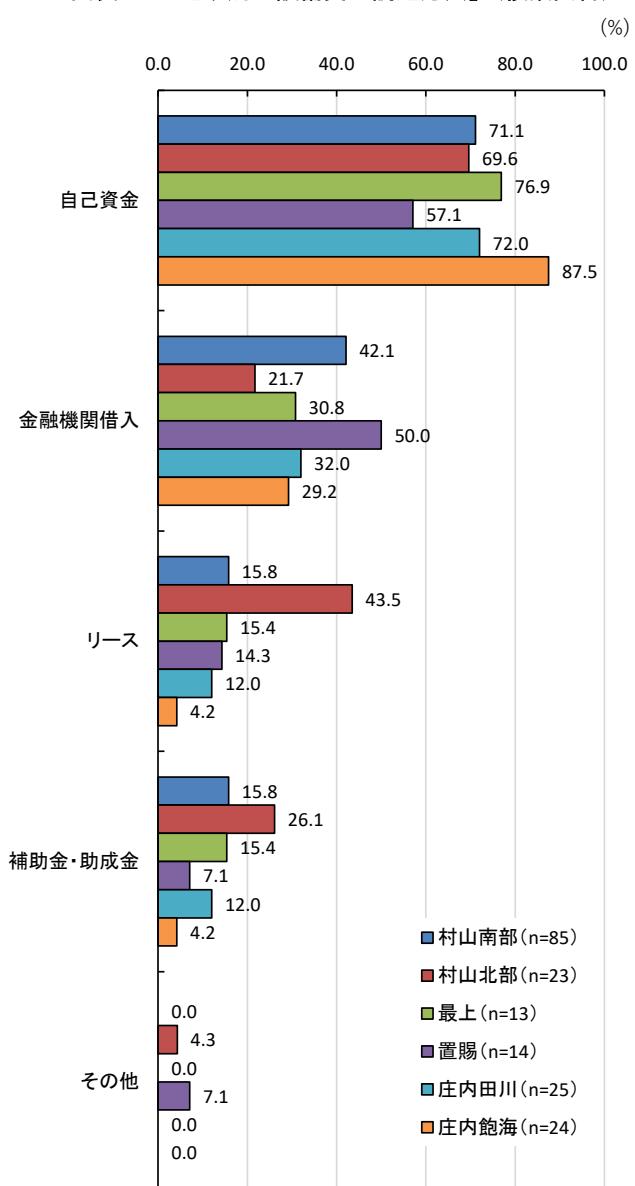
業種別にみると、すべての業種で「自己資金」が最も高い割合となった。特に、サービス業では8割以上を占めており、その他の3業種と比べて高い割合となっている。また、建設業では「補助金・助成金」と答えた企業がいなかった。

地域別にみると、すべての地域で「自己資金」が最も高い割合となった。村山北部では「リース」が第2位となっているが、その他の5地域では「金融機関借入」が第2位となっている。

図表 34 業種別「設備資金調達方法」(複数回答)



図表 35 地域別「設備資金調達方法」(複数回答)



<参考資料I：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	22	33	41	48	144
村山北部	20	28	17	17	82
最上	20	18	8	17	63
置賜	23	26	23	11	83
庄内田川	29	36	26	26	117
庄内飽海	32	30	31	35	128
合計	146	171	146	154	617

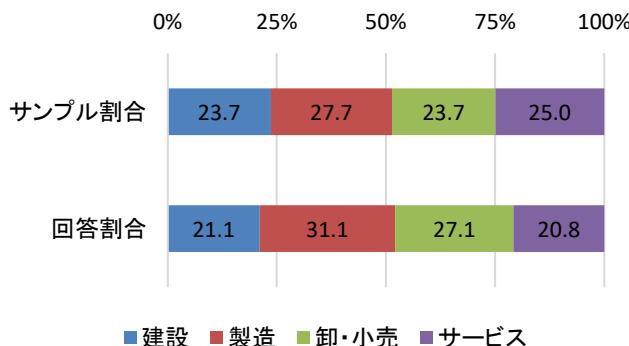
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	16	21	26	29	92
村山北部	5	21	14	9	49
最上	12	9	6	6	33
置賜	10	17	10	6	43
庄内田川	19	24	21	6	70
庄内飽海	12	17	18	17	64
合計	74	109	95	73	351

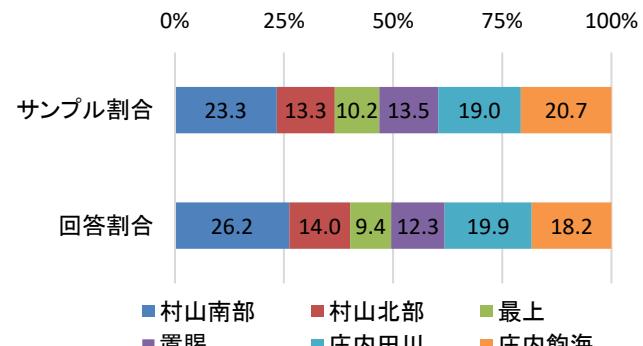
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	72.7	63.6	63.4	60.4	63.9
村山北部	25.0	75.0	82.4	52.9	59.8
最上	60.0	50.0	75.0	35.3	52.4
置賜	43.5	65.4	43.5	54.5	51.8
庄内田川	65.5	66.7	80.8	23.1	59.8
庄内飽海	37.5	56.7	58.1	48.6	50.0
合計	50.7	63.7	65.1	47.4	56.9

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料II：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）

● 調査期間

令和7年8月1日(金)～18日(月)

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を探っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を探っている

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況DI値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」（「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと）を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

＜お知らせ＞

FSN会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (https://www.fir.co.jp/report/report_y_keiki) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

＜お問い合わせ先＞

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 手塚 綾子／松本 敦士

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21莊銀山形ビル8F

T E L : 023-626-9017 F A X : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@fir.co.jp U R L : <https://www.fir.co.jp/>